

平成 29 年度 三宅村立三宅中学校 技術科 授業改善推進プラン

三宅中学校における「確かな学力」

- ・ 授業に取り組む姿勢だけでなく、家庭でも学習しようとする学び続ける力… (学習意欲)
- ・ 各教科の基礎・基本を着実に身に付ける力 … (基礎学力)
- ・ 学んだことから自ら考え、判断し、より深く学ぶ力 … (思考力・判断力)
- ・ 自分の考えを表現し、人に伝える力 … (表現力)

	各学年の課題分析 (生徒の実態・指導方法)	具体的な授業改善策	補充的・発展的 指導計画
1 年			
2 年	<p>課題に対して、積極的に取り組む生徒と消極的な生徒がいる。</p> <p>調べ学習などで時間がかかる生徒がいる。</p> <p>技能の程度の差があるため、個別の対応が必要となる場面がある。</p>	<p>身近な課題を設定して、生徒の関心を引くようにする。</p> <p>時間を区切り、時間内に学習が終わるような意識づけを行う。</p> <p>個に応じた指導を行い、机間指導をしながら、時間がかかる生徒へサポートを行う。</p>	<p>製作計画などを提示して、作業進度の遅い生徒に対して、適宜、昼休みに作業の時間をつくる。</p>
3 年	<p>課題に取り組む意欲が高く、積極的に取り組んでいる生徒が多い。</p> <p>作業の早い生徒、遅い生徒がいて、進度にバラつきがある。</p>	<p>意欲の高さを下げることがないように、作業中の机間巡視と個別指導を行い、全員が基礎的スキルを身につけられるようにする。</p> <p>個に応じた指導を行い、机間指導をしながら、時間がかかる生徒へサポートを行う。</p>	<p>作業の目安を提示して、作業進度の遅い生徒に対して、適宜、昼休みに作業の時間をつくる。</p>